

特集 UNBUILT PROJECT No.1 "shop-SE"

今回は、実現しなかった幻の建築、「アンビルト・プロジェクト」をご紹介します。  
第一弾として、倉庫から複合施設への改修プロジェクト、「shop-SE」です。



概要

県内某所に計画された、既存木造倉庫を改修してのショップ + フィットネスの複合施設です。

ショップは、キャラクターの異なる2つのファッションブティックとCAFÉで構成され、ショップの後方には女性専用のコンビニフィットネスが併設されます。

「普通の木造平屋の倉庫である」ということを、どのように解釈するか?という点から発想を始め、「倉庫らしさ」を活かしていく方向でのデザインを検討しました。

何も無い大きな空間に斜めの壁を貫入させ、それぞれの空間を間仕切ります。この斜めの壁によって空間に軸を与え、動きを生み出させるものと考えました。

既存の構造体を露出させ、木質系の材料を多用し、「ナチュラル」や「オーガニック」というキーワードを手掛かりにラフでザックリとした空間を目指しました。

コンセプト

- [倉庫のように] 倉庫であるからには倉庫らしく。他の何かに見せようとする必要はありません。
- [ロフトのように] 本来、ロフトとは倉庫や工場の屋根裏部屋のこと。隠された架構を露出し、ダイナミックに空間を表現します。
- [仮設のように] 仮設感覚で軽やかに、スポーティに。ラフ&ナチュラルな素材で、カジュアルに。

ショップ全体を斜めに貫く壁が、それぞれの機能を分節し、空間に躍動感を与えます。Casual LineのSHOP-1を中心に、Kirei LineのSHOP-2とCAFÉが閉じ過ぎず・開き過ぎず、連続します。STUDIOは独立したスペースとしていますが、アプローチする際にはショップ全体が見渡せ、CAFÉやSHOPに緩やかに誘導します。



スタッフの日常・非日常 vol.03



こんにちは。スタッフの渡部です。  
8月吉日、雨のち晴。現場に行きました。  
現在、基礎工事をしています。基礎は構造上、建物が一番重要な部分です。何しろ「基礎」と言うぐらいですから。そんなわけで、基礎工事のときは足繁く現場に通い、検査等を行います。写真は、鉄筋の検査です。OKでした。設計どおりの組み方、キレイに組み立てられています。見た目の良さも鉄筋の重要なポイントです。雑な組み方だと強度が落ちます。コンクリートに覆われる部分ですので、この時点での確認が重要です。ところで、この日はドシャぶりの雨でした。現場に着いた途端、豪雨で、終わるとカラッと晴れて、信じられない天気でした。

鳥の巣 オリピック特別企画



言わずと知れた北京オリンピックのメインスタジアム。スイスの世界的建築家ユニット、ヘルツォーク&ド・ムーロンの設計です。東京青山にあるブラダ・ブティックの設計者です。

発展を続ける中国を象徴する、シンボリックな素晴らしい建築だと思います。ただ、その裏では大量の鋼材の使用、開閉式屋根の断念など、設計者としての葛藤や苦悩もあったようです。しかし、そのような裏事情があったにせよ、世界中の人の記憶に残り続ける力強い建築であることは確かです。記録映画があるようで、是非見たいと思います。が、多分秋田ではやらない・・・

編集後記

皆さん、こんにちは。  
2008年8月14日、お盆休みにオリンピックを見ながら、のんびり過ごされてる方も多いのではないのでしょうか。私も朝からオリンピックを見ながら、ニュースレターをまとめてます。

北島選手、やりましたね！100mに続き、200mも金メダルでした。「金メダルであたりまえ」というプレッシャーの中、相当苦しい時期もあったようです。レーザーレーザーの件での動揺もあったかもしれません。それらを跳ね除けての金メダルですから素晴らしいと思います。世界最高の水中フォームは、見ていて惚れ惚れします。

CASBEEの評価員資格も一応試験だったのですが、講習を受けた上での終了考査的な試験でした。合格率90%近いので、「合格してあたりまえ」ですが、妙にプレッシャーがかかたりします。(笑)

私は数日の夏季休暇で英気を養い、また後半、元気で頑張っていきたいと思います。暑いので皆さんもどうぞお体にお気をつけて。次回もどうぞお楽しみに。



8月の加藤一成

NEWS



CASBEE戸建評価員資格を取得しました。

CASBEEとは

「CASBEE」(建築物総合環境性能評価システム)は、建物を環境性能で評価し、ランク付けする手法です。

戸建住宅は、日本にある住宅の約半分を占め、年間約50万戸建設されています。これらがより良い住環境を提供し、長く使われ、省エネや省資源に配慮されていれば、環境負荷を大きく削減することができます。住生活の質を向上させることができます。

CASBEEすまい(戸建)は、戸建住宅の環境に係わる性能を「総合的に」評価するものです。すなわち、特定の取組みのみに特化した住宅よりも、関連分野に対しバランスよく取組む住宅を高く評価するものです。

何を評価するのか

戸建住宅の総合的な環境性能を、戸建住宅自体の「環境品質Q」と、戸建住宅が外部に与える「環境負荷L」の2つに分けて評価します。

環境品質Qが高いことを評価する。

- Q1 室内環境を快適・健康・安心に
  - Q2 長く使い続ける
  - Q3 まちなみ・生態系を豊かにする
- 環境負荷Lを低減する取組みを評価する
- LR1 エネルギーと水を大切に使う
  - LR2 資源を大切に使いゴミを減らす
  - LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する
- (評価マニュアル2007年版を参照)

大規模な建築では、公的な評価システムとしてCASBEEが義務付けられるようになっており、CASBEEすまい戸建もサステナブル建築の推進には欠かせない評価になっていくものと思っています。

Web Site

- Home トップページ
- Profile プロフィール
- Concept コンセプト
- Service 業務案内
- Works 設計事例
- Conference 無料相談

ニュースレター  
「建築家の日常・非日常」  
発行責任者：加藤 一成

有限会社 加藤一成計画事務所

TEL. 018-831-4315  
FAX. 018-831-4316  
HP. http://www.lessdesign.jp  
BLOG. http://issei-design.cocolog-nifty.com/  
MAIL. issei-design@nifty.com